

第三章

医師としての成長



ついに叶えた
医師の夢――



1966年4月――



この場所に
行って
直接勉強して
きなさい

良い発見と
学びがあるはず
です。

こ、
ここは
…!
!

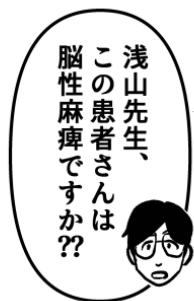
水俣市立湯之児病院
リハビリテーション
センター

1966年5月

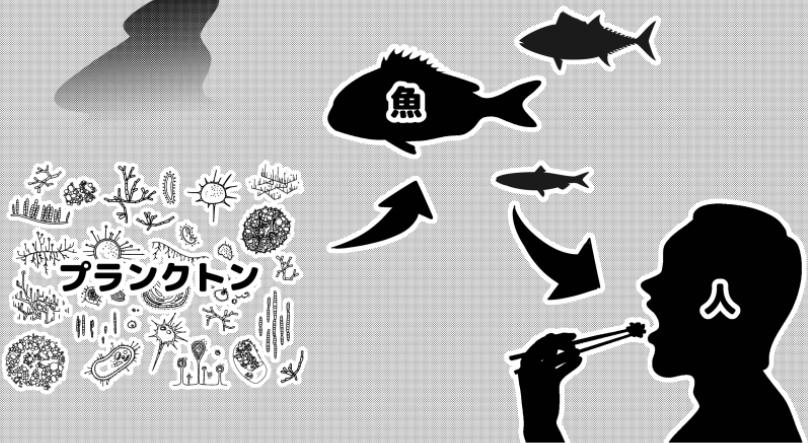




赤ちゃんが
苦しんでいる…



水俣病とは――



工場から流れたメチル水銀に汚染された魚介類を長期間たくさん食べることによって起きる中毒性の神経疾患です。

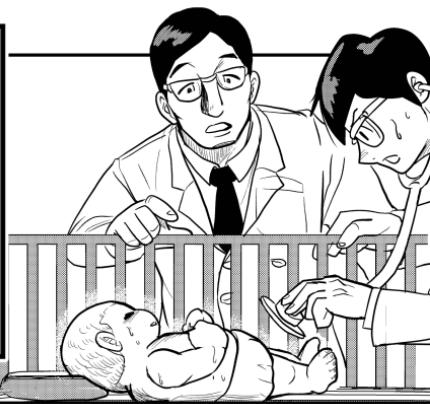
メチル水銀は毒性が強く、血液によつて毒素が脳に運ばれ人体に著しい障害を与えます。

汚染された魚を直接食べていなくとも、妊娠中にお母さんが汚染された魚をたくさん食べると、メチル水銀がへその緒を通じて赤ちゃんの体内に入り、赤ちゃんが水俣病になつて生まれてくることがありました。

※なので、親からの遺伝によって子供が水俣病になるわけではありません。胎児性水俣病の患者さんはお母さんのおなかの中にいるときにメチル水銀によつて障害をうけたため、脳がうまく発育しなかつたり、脳の神経細胞が破壊されたりして、症状の重い人の多くは、幼いうちに亡くなつたりしました。

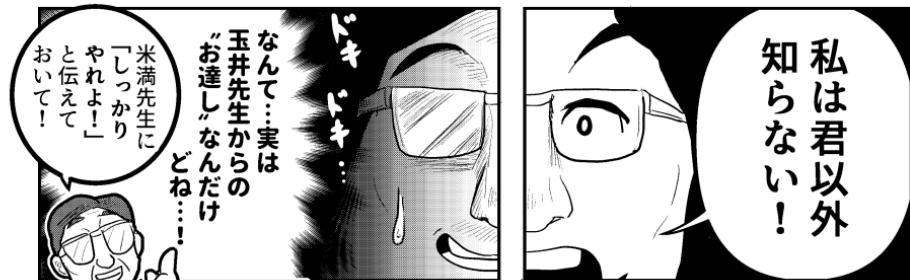
歴史の教科書にも登場する
水俣病ですが、
生まれてくる赤ちゃんにも
影響があると知らない方も
多いと思います。

彼(弘之)もこの時まで
水俣病に胎児性のものが
あるとは知らなかった
と言います。



そして、
同時期に国を通して
熊本大学から
「ある依頼」が
弘之のもとに届きます。





それは決して楽な挑戦ではなく…
熊本大学と湯之尻リハビリセンター
の行ったり来たりの生活を繰り返し
ながら国から与えられた超難題の
任務をこなし続けるという
怒涛の毎日だったといいます。

全部こなして、
日本を代表する
整形外科のスペシャ
リストになるんだ！

こうして彼の新たな
チャレンジが
スタートしました。



このチャレンジの
おかげで医療人として
大きな成長を遂げる
ことができたのです。

喜んでもらえて
先生も嬉しいです！

しかし、決して折れない
強靭な精神力を持つた
弘之は、四年間、その生活
を続け、

せんせー！



ありがとう！





作者

ノゾエ タカフミ NOZOETAKAFUMI

熊本県を中心に活動する
漫画家・イラストレーター。

魅力ある歴史を伝える「漫画」や
親しみやすい「キャラクター」
など：幅広い分野で制作活動を行って
おります。

子どもが2024年1月に
生まれ、パパとしても現在
活躍中。



【ノゾエ タカフミwebサイト】

<https://www.nozotown.com/>